



保健衛生計画

現況と問題点

医療施設

戦後における国民の保健衛生の向上は

いちじるしいものがある。最近における若い世代の体位の向上や死亡率の低下をみても、この傾向は明らかであるが、これは、医療技術や施設、環境衛生、食生活などの飛躍的な向上によるものである。

本県の医療施設数は、表一のとおり昭和三十七年末現在で、六八八（病院一三〇、一般診療所一、一六八、歯科診療所三八六）、病床数は二万一、五〇〇床である。これを二七年末と比べると、施設数では約一・二倍、病床数では約二・二倍となっている。しかし、各地域ごとに医師一人当り人口をみると、県平均八九〇人に対して、熊本、八代などの都市にいちじるしく集中しており、医療機関の適正配置、県民の医療機会の均等という面で問題をはらんでいる。

全病院の年間病床利用率平均は、三十七年度八九％（対前年比一一・五％）であるが、これを病院種別ごとにみると、精神病院一一・八％、結核病院九一・〇％、その他の病院八六％の順となっ

<表1> 地域別医療施設の現況

市 郡 名	病 院		一 般 診 療 所		歯 科 診 療 所	薬 局	医師1人 当り人口
	施設数	病床数	施設数	病床数			
全 県	134	15,767	1,168	5,781	386	341	890
熊 本 市	51	4,931	345	1,901	131	131	400
八 代 〃	11	1,069	76	557	24	19	790
人 吉 〃	8	656	32	239	13	9	800
荒 尾 〃	5	591	35	174	13	6	1,210
水 俣 〃	6	605	25	80	9	5	790
玉 名 〃	3	183	40	213	16	11	1,020
本 渡 〃	5	416	33	259	9	9	820
山 鹿 〃	4	400	29	182	9	10	820
牛 深 〃	1	50	14	59	5	5	1,670
菊 池 〃	2	183	32	127	7	7	740
宇 土 〃	1	67	19	121	4	10	1,270
飽 託 郡	1	125	19	69	3	4	2,130
宇 土 〃	1	210	18	51	6	4	1,320
下 益 城 〃	5	815	46	197	16	16	1,390
玉 名 〃	1	147	51	100	21	9	1,570
鹿 本 〃	1	56	41	91	11	4	1,480
菊 池 〃	7	3,363	43	134	12	13	1,240
阿 蘇 〃	4	482	53	279	13	18	1,510
上 益 城 〃	10	406	40	203	15	17	1,870
八 代 〃	1	330	41	146	10	11	1,640
芦 北 〃	—	—	21	125	8	4	2,180
球 磨 〃	1	220	41	285	12	5	1,970
天 草 〃	5	462	74	189	19	14	1,760

注) 37年末現在。(資料) 医療施設調査

ている。医療施設の都市集中の結果、農山漁村、特にへき地において、医療機会に恵まれない無医地区（半径四キロ以内で常時三〇〇人以上の人口を有する地区および特別へき地）が四三地区もあり、このうち医療施設を設置すれば経営が可能である第三種は二地区、五〇人以上三〇〇人未満の特別へき地は一八地区となっている。医療関係従事者は、特に看護婦および看護婦の不足がはなはだしく、これに

疾 病

対してその養成数は毎年四〇〇人程度である。死亡率については、表二のとおり低下の傾向をたどってきたが、総人口に占める高齢者の割合が増えてきた結果、三五年以降横ばい状態にある。次に、死因別死亡順位は、表三のとおり、中枢神経系損傷（脳卒中等）、悪性新生物（がん）、心臓疾患、老衰の順。

